

# セキュリティ・ミニキャンプ in 山梨 2023

## 専門講座

参加無料

2023年9月23日(土)～9月24日(日)

会場:山梨大学 甲府東キャンパス

応募締切:2023年8月21日(月)16時00分



### 開催概要

日程	2023年9月23日(土) 13:00 (受付開始12:40)～9月24日(日) 16:00 (1泊2日)
場所	山梨大学 甲府東キャンパス 情報メディア館 〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37
定員	20名 選考あり
参加資格	日本国内に居住する、2024年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒
主催	特定非営利活動法人山梨ICT&コンタクト支援センター、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)、国立大学法人山梨大学
後援	経済産業省関東経済産業局、山梨県、山梨県警察本部、山梨県教育委員会、甲府市、甲府商工会議所、山梨県立大学、山梨学院大学、山梨英和大学、専門学校サンテクノカレッジ、山梨県インターネットプロバイダ連絡協議会、テレビ山梨、山梨放送、山梨日日新聞社、日本ネットワークサービス、エフエム富士
協賛	エムオーテックス㈱、㈱大塚商会、㈱オービックビジネスコンサルタント、㈱シー・シー・ダブル、シスコシステムズ(同)、SB C&S㈱、Dynabook㈱、ダイワボウ情報システム㈱、ディー・ブイ・インスティテュート㈱、トレンドマイクロ㈱、日興通信㈱、日本事務器㈱、日本電気㈱、㈱日本HP、㈱パッファロー、ピー・シー・イー㈱、㈱フォーラムエイト、富士通㈱、富士テレコム㈱
費用	無料。ただし会場までの交通費は自己負担でお願いいたします。
URL	<a href="https://www.security-camp.or.jp/minicamp/yamanashi2023.html">https://www.security-camp.or.jp/minicamp/yamanashi2023.html</a> ※講義内容(テーマ、担当講師等)は変更する可能性があります。

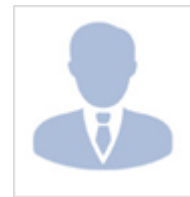
### プログラム

1日目 9月23日(土)	
12:40～	受付開始
13:00～13:20	『オープニング』 一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会ステアリングコミッティ
13:20～14:20 (60分)	『サイバー犯罪の現状と関連法・情報倫理について』 坂本 太氏 山梨県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 様々な観点からサイバー犯罪の現状や実態をお話しするとともに、サイバー犯罪の関連法や情報倫理について説明します。
14:20～14:30	休憩
14:30～17:00 (150分)	『独自言語でサウンド・プログラミングとセキュリティ』 坂井 弘亮氏 富士通株式会社 NLLは講師が開発しているプログラミング学習向けの独自言語です。NLLでサウンド・プログラミングを体験してみましょう！ピアノやオルガンやバイオリンの音色を作ったり、それで演奏してみたりします。これは楽しそう！しかしその先にはセキュリティ的課題が待ち受けていて... 独自言語やツールを作ったときにその先にある「セキュリティ」を体験してみましょう。
17:00～18:30	夕食、山梨県生涯学習推進センターへ移動
18:30～20:00	宿題、自主学習
20:00	1日目終了(宿泊場所へ移動、自由行動、就寝)
2日目 9月24日(日)	
7:30～9:30	朝食、会場へ移動
9:30～12:00 (150分)	『libFuzzerで始めるファジング入門』 元田 匡哉氏 NTTセキュリティ・ジャパン株式会社 ソフトウェアの脆弱性を見つける手法として、ファジングの研究が活発化しています。本講義では、ファジングの基本原則を学び、libFuzzerを用いたハンズオン体験を通じて、ファジングの技術を習得します。是非、この機会にファジングの世界へ足を踏み入れてみてください。
12:00～13:00	昼食休憩
13:00～15:30 (150分)	『ソースコード解析によるWebアプリケーションの脆弱性調査入門』 西谷 完太氏 GMOサイバーセキュリティ byイエラエ株式会社 脆弱性を見つける上で、ソースコード解析のスキルがあれば実装を理解したうえで効率的な脆弱性調査が可能です。また、脆弱性の原因となった実装について分析することで、開発時にそのような脆弱性を作り込まないよう活かすことが可能です。本講義では手動のソースコード解析に加えて、CodeQL等の静的解析ツールをOSSのWebアプリケーションに用いることで、脆弱性の検出を効率的に行う入門的な内容をハンズオン形式で学びます。
15:30～16:00	『クロージング』 総評、アンケート記入等

## ■参加要項(事前にご確認ください)

応募条件	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本国内に居住する、2024年3月31日時点において25歳以下の大学院生・学生・生徒・児童</li><li>・2023年9月23日時点で18歳未満の場合、本大会の参加について保護者の同意を得ていること(参加が決定した際に保護者の同意書を提出していただきます)</li><li>・2日間(9/23~24)通して参加が可能なおこと</li><li>・開催当日において、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合や、下痢の症状、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が数日続いている場合は、現地での参加を取りやめていただきます。</li><li>・応募者は、演習で使用する下記条件のPCを持参できること<ul style="list-style-type: none"><li>- USB(TypeA)の空きポートがあること、Wi-Fiに接続可能なこと、開発環境等が動作するスペックのCPU、メモリ16GBがあること、SSDまたはHDDに20GB程度の空き容量があること</li></ul></li><li>・応募者自身がキャンプにて使用するオンラインサービス、ソフトウェアを使用できること<ul style="list-style-type: none"><li>- VirtualBox、VMware等、仮想化ソフトウェアの簡単な操作が可能境においてLinuxのコマンド操作が可能なおこと</li><li>- 参加決定後に指定のソフトウェアをインストールし、起動確認できること(詳細は参加決定後にご連絡します)</li></ul></li><li>・OSS等のソースコードを読むことができること</li><li>・Webにおける脆弱性の基礎を理解していること</li><li>・今回の「セキュリティ・ミニキャンプ in 山梨 2023 専門講座」では、講義の録画、配信が行われる可能性があることをご承知いただくこと</li><li>・セキュリティまたは、プログラミングに関して、講習を受けられるだけの基礎知識と積極的に取り組む姿勢を持っていること</li><li>・別途定める「セキュリティ・ミニキャンプ in 山梨 2023 専門講座」実施規定を遵守できること</li></ul>
申込方法	セキュリティ・キャンプ協議会のホームページよりお申し込みください。 <a href="https://www.security-camp.or.jp/minicamp/yamanashi2023.html#Id01">https://www.security-camp.or.jp/minicamp/yamanashi2023.html#Id01</a> ※選考問題があります。 ※申込内容に不備があった場合は、事務局より確認のご連絡をする場合がございます。 ※申込された方には、申込受領のメールが自動送信されます。メールが届かない場合は事務局までご連絡ください。
申込締切	8月21日(月)16:00必着(16:00までに到着したものを有効とします)
参加者決定のお知らせ	審査の上、申込みされた方全員に8月25日(金)までにメールまたは電話にて連絡します。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・申込者多数の場合には、参加できないことがあります。参加者は、申込書の記入必要事項及び選考問題の回答内容を審査の上、関東地方の方を優先に選考します。</li><li>・会場までの往復の交通機関や宿泊施設は必要に応じてご自身で手配(費用自己負担)してください。なお、9月23日の宿泊は主催者が手配、費用負担します。</li><li>・参加が決定された方には、応募条件を満たすことを証明する書類(学生証のコピーや学校が発行する在籍証明書等)、参加誓約書(参加規程を遵守する旨の誓約)、その他主催者が必要と定める書類を提出していただきます。</li><li>・ミニキャンプ期間中には、マスコミ各社による取材活動が行われることがあります。また、取材された結果が氏名・学校・顔写真を含んだ受講時の様子を含め各メディアに掲載されることがありますので、ミニキャンプに申し込みされる方はその旨事前にご了解ください。</li><li>・講義を主催者側が撮影・記録させていただく場合がございます。撮影した講義の動画等は、後日配信される可能性があることをご了承ください。</li><li>・ミニキャンプの講義の様子は、キャンプ事業の広報活動や技術啓発を目的として撮影、録音し、その内容を公開する場合があります。</li><li>・受講およびイベント参加中は、20歳以上であっても、飲酒・喫煙を禁止します。</li><li>・本事業の成果をはかることを目的として、ミニキャンプ参加後、参加者については参加者アンケートの提出を含めて、定期的にその後の活動状況についてフォローアップ調査(参加者は回答必須)させていただきます。参加を希望される方はその旨事前にご了解ください。</li><li>・「セキュリティ・ミニキャンプ in 山梨 2023 専門講座」に参加した方でも、セキュリティ・キャンプ全国大会や他のミニキャンプの応募は可能です。</li></ul>

## ■講師プロフィール



### 坂本 太 (さかもと ひとし)

民間企業でシステムエンジニアを経験したのち、警察官を拝命。サイバー犯罪事件捜査や被害防止対策に従事。現在は人材育成に取り組んでいる。



### 元田 匡哉 (もとだ まさや)

NTTセキュリティ・ジャパン株式会社において、SOCアナリストとして業務に従事。学生時代は組み込みシステムに対するファジングについて研究。セキュリティ・ミニキャンプ in 岡山 2018、in 愛知 2019を修了後、セキュリティ・ネクストキャンプ2021オンラインを修了。2022年には、セキュリティ・キャンプ全国大会のAクラスのチューターを経験。



### 坂井 弘亮 (さかい ひろあき)

富士通株式会社 インフラストラクチャーシステム事業本部(Global FDE)、セキュリティ・キャンプ講師、SECCON実行委員、SecHack365トレーナー。  
幼少の頃よりプログラミングに親しみ、組み込みOS自作、多種アーキテクチャのアセンブリ解析、独自シェル(NLSH)・独自標準Cライブラリ(NLLIBC)・独自コンパイラ(NLCC)・独自スクリプト言語(NLL)の開発などで活動中。イベント出展・セミナー登壇多数(オープンソースカンファレンスなど)、アセンブラ短歌六歌仙のひとり(白樺派)、バイナリかるた・バイナリ駄洒落発案者(エバンジェリスト)、フリーソフトウェア作成。著書は「12ステップで作る 組み込みOS自作入門」「大熱血!アセンブラ入門」など多数。技術士(情報工学部門)。



### 西谷 完太 (にしにた かんた)

主にWebにおける高度な診断、ペネトレーションテストを担当。プライベートではバグバウンティに精力的に取り組み、BugcrowdやBugbounty.jpなどのバグバウンティプラットフォームでランキング上位をマークする経験を持つ。